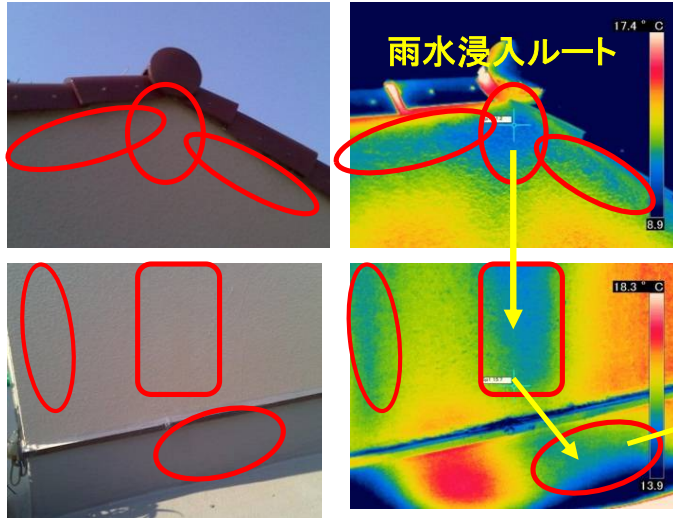


赤外線サーモグラフィによる雨漏り診断

戸建住宅、賃貸住宅・マンション、大型特殊建物等の外壁劣化、雨漏れ箇所・雨漏れルート・原因を診断！

赤外線建物診断は、赤外線サーモグラフィで測定した温度分布データを解析することにより、目視では、わかりづらい建物の外壁の劣化、雨漏れなどを非破壊で確認することができます。

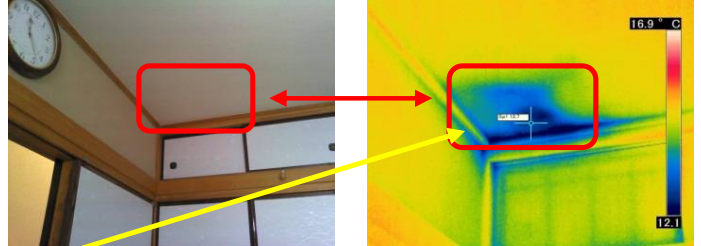
赤外線雨漏り診断診断事例【雨漏れ箇所・ルート原因の特定】



可視画像

赤外線画像

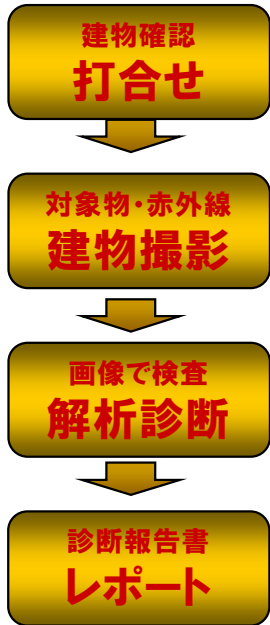
築25年5年前に中古物件で購入。購入時より雨漏り。リフォーム会社で修繕するも雨漏り再発を繰り返す状況で第三者機関として診断受託。赤外線診断により原因・雨水浸入ルートを特定し、その結果に基づき修繕し、現在は雨漏りはなし。



健全部分に比べて、水分が侵入している箇所が、冷たい温度で表示されています。外壁内への水分の滞留が、赤外線画像でわかります。

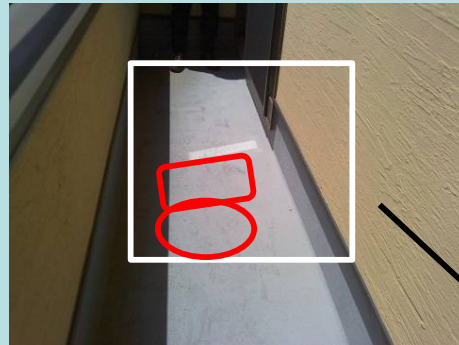
目視ではわからない水分の滞留箇所が赤外線画像では、判別できます。(赤枠内が水分の滞留箇所)

《赤外線雨漏り診断の流れ》

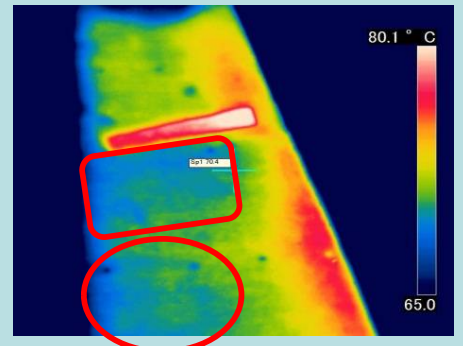


※赤外線建物診断につきましては、ご依頼いただきましてから報告まで通常約1週間～10日間要します。
※但し、天候等によりスケジュールは変更される場合があります。
※診断の費用は、建物概要、図面、状況ヒアリング等必要事項伺った上で、御見積もりいたします。

戸建住宅ベランダ防水赤外線診断例



右図は、上記白枠部の赤外線画像。
画像中の赤枠部の赤外線の低温(青色)は、ベランダ防水内に水分の滞留と推定されます。
※ベランダ笠木部より入り込んだ雨水がベランダ防水内に侵入と推測。



■ 赤外線建物診断に関するお問合せ先
株式会社SSPO